

下地調整塗材・薄塗り 炭素繊維補強ポリマーセメントモルタル

NICE ボンド CF

～健康的で安心な自然素材を絶妙にブレンドしたプレミックス材～

【NICE ボンドCF】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0305242
放射等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.sk-vdzg/

〔目 的〕

この施工マニュアルは内外装仕上げ材施工時において、下地調整・補強効果を向上させる事により下地からのひび割れ等を抑制し、「炭素繊維補強ポリマーセメントモルタル」『NICE ボンドCF』の性能・耐久性及び工事の品質を確保する為のものです。

〔用 途〕

仕上げ材を施工する前の内外装各種下地へ下地補強等を行う下地調整塗材です。

〔特 長〕

- 1) ジョイント処理及び全面下地補強の用途で各種下地に施工可能な安心の付着力。
- 2) 素材の高強度を生かした配合により剥離や亀裂の発生を抑止。
- 3) 薄塗り下地材料ですから仕上げ材料の厚みに自由度があります。

〔適 用 下 地〕

プラスターボード、コンクリート、ケイカル板、合板、モルタル、コンクリートブロック、ノンラス板、ALC板、ビニールクロス、古い壁（じゅらく・繊維壁）

〔使用材料〕

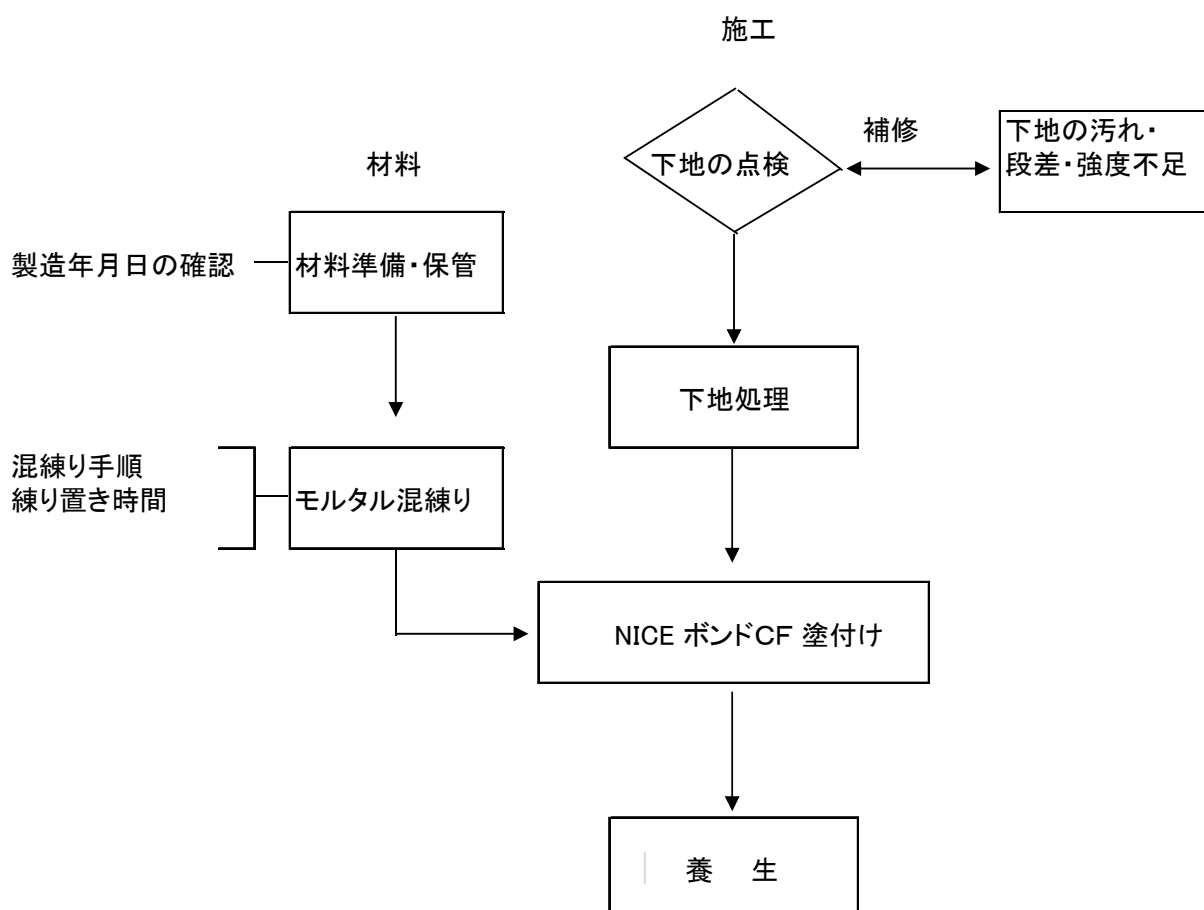
「NICE ボンドCF」 （ダンボール箱セット入り）	／紛体 15kg、専用樹脂 3kg
「NICE ラテックス」 （高性能アクリル系共重合エマルジョン）	／18kg 缶入り、4kg ボトル入り
「グラスファイバーテープ」 （糊付き）	／5cm×30m
「CL タフガード」 （ビニロンメッシュ）	／1m 幅×100m 巻 1 本梱包 33cm 幅×100m 巻 3 巻梱包 20cm 幅×100m 巻 5 巻梱包 10cm 幅×100m 巻 10 巻梱包

〔調 合〕

NICE ボンドCF	15 Kg / 袋
専用樹脂	3 kg
清 水	約2.5～3 ℓ

練り上がり量 : 約15 ℓ
 標準塗厚 : 約0.5～1 mm
 標準施工面積 : 約15 m² / (1 mm厚 / 1セット)

〔標準施工工程〕



※下地の種類及び仕上げ材の種類によって施工手順が異なる場合がありますので、必ず施工前にお問い合わせください。

[標準施工方法]

① 下地の点検

- 1) 下地の汚れ、レイトンス等を除去し、十分に清掃して下さい。必要に応じて水洗いを行って下さい。

※下地材としての強度があることを確認して下さい。

※ビニールクロス（下地との接着が良好なもの）は汚れや剥がれが多い場合や不陸・段差がある場合は清掃後、平滑になるように本製品にて下地補修をまず行って下さい。

※古い壁（じゅらく・繊維壁）は必ず表層の仕上げ材を除去し、本製品にて下地補修を行って下さい。

② 下地処理

- 1) 下地が合板などのアクが出るおそれのある場合は「NICE ラテックス」の原液を使用して下さい。その他の場合は「NICE ラテックス」の3倍希釈液（NICE ラテックス：水＝1：2）を塗布して下さい。
- 2) プラスターボードの目地部分には糊付き5cm幅の「グラスファイバーテープ」を張り付け「NICE ボンドCF」を目地部に詰め塗り、余分な塗り材は鏝又はへら等にかき取って下さい。入隅、出隅部分も同様の処理を行って下さい。

※その他の外装使用を含むボード類はCLタフガードの全面ふせ込みを行って下さい。

③ 「NICE ボンドCF」混練り

- 1) 標準水量（2.5～3ℓ）より少ない水と「NICE ボンドCF」専用樹脂（3kg/缶）を混合容器に入れ、「NICE ボンドCF」紛体（15kg/袋）を加えながらハンドミキサーでまみ粉ができないように混練りして下さい。続いて残りの水を入れて適正な軟度に調整して下さい。

※ハンドミキサーの羽根は、繊維のダメをつくらないように「スクリュウ型」を使用して下さい。

※均一なモルタルにするため、約3分練り混ぜてください。練り不足、過度の練り混ぜは強度低下の原因になります。

④ 「NICE ボンドCF」塗付け

1) 下地からの気泡発生を少なくするため、施工箇所に鋺圧をかけて下地に擦り込むようにしごき塗りを行って下さい。

その後、追っかけで1～1.5mmの厚さになるように塗付けて下さい。

※浮きや剥がれの原因となりますので、『ガリッ』としごくように擦り込んでください。

⑤ 養生

1) 仕上げ材の施工は、翌日以降に行って下さい。

2) 直射日光・通風による早期乾燥を防止する為、シート等で養生して下さい。

3) 「NICE ボンドCF」の塗付け面が著しく乾燥している場合は翌日散水養生して下さい。

4) 本品はセメント製品であるため低温・降雨・降雪・水塗れ・結露等により、白華（エフロレッセンス）が発生する場合があります。適切なシート・保温・採暖養生等を行って下さい。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練り混ぜないで下さい。なお、混練りには水道水等の清水を使用して下さい。
2. 混練りした材料は1時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から6カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS 5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所に移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー  株式会社 **豊運**



本社・営業本部 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133
東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004 岡山営業部 TEL 0868-38-4001 FAX 0868-38-7022
大阪営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133 京都営業課 TEL 0771-86-0711 FAX 0771-86-0811

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

改訂 2013/05 第4版